

事務事業名	文化振興諸事業			事業コード	10050800101
所管部署	文化課	電話	50-3164	記入者名	坪内 亜由美
事業対象	市民、坂井市文化協会				
総合計画	基本構想	生涯を通じて学び・育つまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	歴史・文化・芸術の伝承と振興		事業種別	ソフト事業
実施主体	市	実施手段	業務の一部を委託	委託内容	文化祭事業、公演事業、支援事業
根拠法令	無				
根拠例規	無				
関連計画	無				

【事業の概要】

全国大会に出場する市民に対し大会での活躍を激励することにより、文化芸術の向上を図る。また、市民が主体となって活動する「坂井市文化未来会議」を設置し、文化活動の振興を図る。地域性豊かな伝統文化の継承と文化活動の振興を図ることを目的に、丸岡町文化振興事業団事業及び坂井市文化協会の実施する文化活動事業を支援する。  
優れた舞台芸術公演を鑑賞する機会や発表する場を提供することで、地域の文化芸術水準の向上や活性化を図るとともに、市民の文化活動への積極的な参加を推進していく。

○賃金(龍翔館臨時) 4,150千円、○需用費(消耗品、光熱水費等) 231千円、○役務費(陶芸工房火災保険料) 7千円

【激励事業】  
全国文化芸術大会等に出場1名につき5千円、団体については100千円を限度として支給する。  
○報償費(激励費) 100千円

【丸岡町文化振興事業団】  
人件費及びまるおか子供歌舞伎事業に係る経費について補助することで、各種文化事業の企画・運営を行う丸岡町文化振興事業団を支援する。  
・丸岡町文化振興事業団運営補助金 16,076千円

【坂井市文化協会】  
協会の運営及び活動事業に係る経費について補助する。  
・坂井市文化協会事補助金 2,600千円

【坂井市民文化祭】  
市民が日頃の文化活動の成果の発表と交流を図る文化祭を開催する(10月～11月)。総合開会式、4地区会場で開催。  
・坂井市民文化祭実行委員会委託料 4,995千円

【文化施設公演委託】  
ハートピア春江及びみくに文化未来館において文化公演を実施する。  
・文化施設公演業務委託料 17,977千円

【市民文化創造企画支援事業委託】  
市民グループが自主的に企画立案した事業を支援する。  
・市民文化創造企画支援事業委託料 1,170千円

【事業のコスト】

予算	款	教育費	項	社会教育費	目	文化振興費				
コスト	事業費	平成23年度		平成22年度		平成21年度		平成20年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		委託費	24,142千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		需用費	231千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		役務費	7千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		その他	18,776千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		事業費合計	43,156千円	千円	千円	千円	千円	千円		
	人件費	正職員	1.15人	7,814千円	人	千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00人	千円	人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	1.15人	7,814千円	人	千円	人	千円	人	千円
		総事業費		50,970千円		千円		千円		千円
		事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円	
			使用料・手数料	40千円	千円	千円	千円	千円	千円	
			分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
地方債	千円		千円	千円	千円	千円	千円			
その他	千円		千円	千円	千円	千円	千円			
一般財源	50,930千円	千円	千円	千円	千円	千円				
財源合計	50,970千円	千円	千円	千円	千円	千円				

【事業の成果】

指標名	単位	年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度	平成20年度		
成果	文化活動事業数	目標値	130	達成率	50	達成率	40	達成率
		実績値	122	93.85	122	43	40	
成果	全国大会出場者数	目標値	30	達成率	30	達成率	10	達成率
		実績値	20	66.67	41	38	19	
活動	文化協会会員数	目標値	3250	達成率	3372	達成率	3300	達成率
		実績値	3027	93.14	2976	3372	3378	
活動	公演事業入場料収入(ハートピア春江)	目標値	10047	達成率	5780	達成率	7350	達成率
		実績値	12559	125	8355	8610	10322	
		目標値		達成率		達成率		達成率
		実績値						
		目標値		達成率		達成率		達成率
		実績値						

すぐにできる改善提案	文化祭事業は、平成22年度より坂井市文化協会に委託して実施しました。今後は、各部門において旧4町合同での開催をするなど、文化の資質の向上を目指していくことが大事だと考えています。平成23年度は開会式と展示・茶席・郷土芸能発表を合同で開催することにより、もう一步融合を図っていきます。
目標年度 平成23 年度	
取組状況	文化祭事業では総合開会式のスケールアップを図り、例年よりも交流の枠を大きくしてより総合的な開催としました。旧4町地域の特色のある展示・芸能発表・茶席の開催となり、来場者にとっても見ごたえのある開会式となりました。
中長期的に取り組むべき改善提案	公演事業については、ハートピア春江を坂井市の拠点ホールと位置づけ、みくに文化未来館を地域の身近なホールとして競合しないような運営をするため、その文化施設の特性を活かし市民がより質の高い芸術文化に触れられるような公演事業の開催、児童や生徒などが本物の舞台芸術を体験できるような文化芸術の教育普及事業の実施を目指します。
目標年度 平成25 年度	
取組状況	公演事業の計画の際には、趣旨、目的に相応しい内容で実施できるように、早くから十分な協議を行っていきます。

【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A	
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？(国、県、民間の活動と重複していませんか？)	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	B
	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力(民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等)を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B	
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？(事業の成果が十分に上がっていますか？)	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A	
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	平成28	年度を目安
判断事由	平成24年3月に坂井市の文化の未来を模索する会議「坂井市文化未来会議」を立ち上げた。本格的な活動は平成24年度からになるがこの会議の中で夢のある文化振興施策のヒントをもらい実践していこうと考えています。また、文化祭は引き続き坂井市文化協会に委託して実施、実施方法については、開会式が総合開催、展示等は4地区開催のスタイルを継続する。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	平成28	年度を目安
判断事由	引き続き市が実施していきます。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成28	年度を目安
判断事由	現行の予算を最大限に活用して実施します。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	現在の人員で事業を実践します。			
すぐにできる改善提案	文化祭について平成23年度の総合開会式と郷土芸能発表、展示、茶席の開催実績を踏まえ現状のスタイルを継続するが、部門ごとの合同開催を働きかけることで実践を目指す。			
目標年度 平成24 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	坂井市文化未来会議の活動成果として夢のある文化振興施策を展開することで坂井市の新しい文化活動の育成、発展を図る。また、文化祭については、部門ごとの合同開催を坂井市文化協会に働きかけ更なる文化の融合を図っていく。			
目標年度 平成28 年度				

【所属長評価】

事務事業名	文化未来館施設管理運営事業			事業コード	10050800301
所管部署	文化課	電話	50-3164	記入者名	黒谷 好美
事業対象	市民 施設利用者				
総合計画	基本構想	生涯を通じて学び・育つまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	歴史・文化・芸術の伝承と振興		事業種別	指定管理者事業
実施主体	指定管理者	実施手段	業務の全部を委託	委託内容	管理運営業務
根拠法令	有	地方自治法第244の2第3項及び各施設設置条例の規定			
根拠例規	有	坂井市みくに文化未来館条例・坂井市みくに文化未来館条例施行規則			
関連計画	有	坂井市教育振興基本計画			
事業の概要	文化施設の適切な維持管理を行うとともに、市民の文化振興を図る。				
	市の文化施設として、指定管理者により適切な管理を行うとともに、修繕及び改修については長期的な視野に立ち計画的に行う。 指定管理者：坂井市文化振興事業団 平成20年度～平成24年度				
事業の目的・事業の概要等	◆文化未来館管理運営事業 48,650千円 ○役務費（火災保険料） 65千円 ○委託料（指定管理者委託料） 46,800千円 ○備品購入費（舞台音備品購入費） 1,785千円				

すぐに行える改善提案	みくに文化未来館は建設以来17年以上が経過しており、施設及び設備が老朽化しております。常に施設の状況を的確に把握して、必要に応じた適切な施設整備を行っていく必要があります。特に舞台設備につきましては、年次計画を立てて取り組んでいく必要があります。また、ホールの特長として、地域文化活動の拠点とした住民参加型の事業など、活動内容の検討と見直しを進めていきます。
目標年度 平成25 年度	
取組状況	23年度は舞台吊物ワイヤーロープの取替と音響設備の更新を行いました。毎月の業務報告書を通じて、適切に管理運営がされているかを確認しました。
中長期的に取り組むべき改善提案	地域の文化活動団体などが気軽に練習や発表の場として利用できる貸館中心のホールとして位置づけ、経年劣化している施設及び設備は計画的に整備し、文化活動内容の検討を行っていきます。
目標年度 未設定 年度	
取組状況	24年度では排煙設備修繕、舞台照明設備ボアードケーブル改修工事、舞台音響備品購入を実施していきます。

【前年度改善案に対する取組状況】

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B

【担当者評価】

予算	款	教育費	項	社会教育費	目	文化振興費				
コスト	事業費	平成23年度		平成22年度		平成21年度		平成20年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		委託費	46,800	千円	千円	千円	千円	千円		
		需用費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		役務費	65	千円	千円	千円	千円	千円		
		その他	1,785	千円	千円	千円	千円	千円		
		事業費合計	48,650	千円	千円	千円	千円	千円		
	人件費	正職員	0.52 人	3,533 千円	人	千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00 人	千円	人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.52 人	3,533 千円	人	千円	人	千円	人	千円
	総事業費		52,183 千円	千円	千円	千円	千円	千円		
	事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円		
			使用料・手数料	千円	千円	千円	千円			
			分担金・負担金	千円	千円	千円	千円			
地方債			千円	千円	千円	千円				
その他			千円	千円	千円	千円				
一般財源		52,183 千円	千円	千円	千円	千円				
財源合計		52,183 千円	千円	千円	千円	千円				

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	平成24	年度を目安
判断事由	老朽化した施設及び設備の状況を的確に把握しながら計画的に適切な施設整備を行い、地域文化拠点として指定管理者による管理運営を行っています。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	平成24	年度を目安
判断事由	H25年3月31日まで指定管理者による管理運営を継続します。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成24	年度を目安
判断事由	H25年3月31日まで指定管理者による管理運営を継続します。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成24	年度を目安
判断事由	H25年3月31日まで指定管理者による管理運営を継続します。			
すぐに行える改善提案	指定管理者のモニタリングを通して適正な管理運営を図り、次期指定管理者を選定する段階で業務の見直しを行って活動内容の検討を行います。			
目標年度 平成24 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	施設の老朽化に応じた施設整備を計画的に行い、「地域の文化活動団体等が気軽に練習や発表の場として利用できる貸館中心のホール」として指定管理者により適正な管理運営を図りながら文化活動内容の検討を行っていきます。			
目標年度 -- 年度				

【所属長評価】

	指標名	単位	年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度	平成20年度
成果	利用者数	人	目標値	12000	達成率	12000	達成率
			実績値	11757	97.97	11048	達成率
成果	利用料収入	千円	目標値	1820	達成率	1382	達成率
			実績値	1802	99.01	1909	達成率
活動	ホール稼働率	%	目標値	42	達成率	41	達成率
			実績値	49	116.67	40	達成率
活動	開館稼働率	%	目標値	65	達成率	63	達成率
			実績値	59	90.77	49	達成率
			目標値	達成率	達成率	達成率	達成率
			実績値				
			目標値	達成率	達成率	達成率	達成率
			実績値				

【事業の概要】

【事業のコスト】

【事業の成果】

事務事業名	旧森田銀行本店管理運営事業			事業コード	10050800401		
所管部署	文化課	電話	50-3164	記入者名	黒谷 好美		
事業対象	市民 施設利用者						
総合計画	基本構想	生涯を通じて学び・育つまちづくり			事業区分	自治事務（任意的なもの）	
	基本計画	歴史・文化・芸術の伝承と振興			事業種別	指定管理者事業	
実施主体	指定管理者	実施手段	業務の全部を委託		委託内容	管理運営業務	
根拠法令	有	地方自治法第244の2第3項及び各施設設置条例の規定					
根拠例規	有	旧森田銀行本店条例・旧森田銀行本店条例施行規則					
関連計画	有	坂井市教育振興基本計画					
事業の概要	国の登録有形文化財である旧森田銀行本店を保護し、広く一般に公開することで、文化財保護意識を高める。						
	国の登録有形文化財として、指定管理者により適切な管理を行う。 指定管理者：坂井市文化振興事業団 平成20年度～平成24年度 ○需用費（火災保険料） 16千円 ○委託料（指定管理者委託料） 3,150千円						
事業の目的・事業の概要等							

すぐに行える改善提案	旧森田銀行本店は、国の登録文化財であり、永続的に保存する建造物として、指定管理者制度で坂井市文化振興事業団が運営を実施しています。この施設を公開するだけでなく、展示会の実施や市民に発表等の場として提供をしていきます。貸館の利用者を増やすためのPR及び文化財保護意識を高め、活用を計る企画を進めていきます。		
目標年度 未設定 年度			
取組状況	施設の維持管理は、毎日の巡回や保守点検等において適切に行っております。23年度は外壁劣化度調査を実施しました。		
中長期的に取り組むべき改善提案	施設の修繕については、適宜対応していますが、大規模な修復工事については、計画的に進めていくよう検討の必要があります。		
目標年度 未設定 年度			
取組状況	報告されている修繕等については、今後検討、協議してまいります。		

【前年度改善案に対する取組状況】

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	B
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B

【担当者評価】

予算	款	教育費	項	社会教育費	目	文化振興費				
コスト	事業費	平成23年度		平成22年度		平成21年度		平成20年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		委託費	3,150	千円	千円	千円	千円	千円		
		需用費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		役務費	16	千円	千円	千円	千円	千円		
		その他	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
	事業費合計	3,166	千円	千円	千円	千円	千円			
	人件費	正職員	0.23	人	1,563	千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00	人	千円	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.23	人	1,563	千円	人	千円	人	千円
	総事業費	4,729	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
	事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円		
使用料・手数料			千円	千円	千円	千円	千円			
分担金・負担金			千円	千円	千円	千円	千円			
地方債			千円	千円	千円	千円	千円			
その他			千円	千円	千円	千円	千円			
一般財源		4,729	千円	千円	千円	千円	千円			
財源合計	4,729	千円	千円	千円	千円	千円	千円			

【事業のコスト】

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	平成24	年度を目安
判断事由	国の登録文化財である旧森田銀行本店の保護を図り指定管理者による管理運営で公開するだけでなく展示会の会場や文化活動の発表の場として活用を行っています。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	平成24	年度を目安
判断事由	H25年3月31日まで指定管理者による管理運営を継続します。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成24	年度を目安
判断事由	H25年3月31日まで指定管理者による管理運営を継続します。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成24	年度を目安
判断事由	H25年3月31日まで指定管理者による管理運営を継続します。			
すぐに行える改善提案	指定管理者のモニタリングを通して適正な管理運営を図り、次期指定管理者を選定する段階で業務の見直しを行って貸館の利用拡大と文化財保護意識の高揚を進めていきます。			
目標年度 平成24 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	平成23年度に実施した外壁劣化度調査結果による計画的な施設の改修を進め保護を図るとともに指定管理者の管理運営のもとで文化財の活用を拡充し文化財保護意識を高め観光振興の活性化に寄与していきます。			
目標年度 -- 年度				

【所属長評価】

指標名	単位	年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度	平成20年度	
成果	利用者数	人	目標値 32000 達成率 30000	目標値 27070 達成率 84.59	目標値 25342 達成率 31643	目標値 25000 達成率 37329	
		円	目標値 30000 達成率 30000	実績値 30000 100	30000	20000	30000
活動	昼間展示利用稼働率	%	目標値 87 達成率 85	実績値 84.3 96.9	86	81	85
		%	目標値 85 達成率 85	実績値 84 98.82	89.1	83.3	88.2
活動	開館稼働率	%	目標値 85 達成率 85	実績値 84 98.82	89.1	83.3	88.2
		件	目標値 3 達成率 3	実績値 3 100	3	3	3
活動	夜間展示利用稼働率	件	目標値 3 達成率 3	実績値 3 100	3	3	3
			目標値 達成率	実績値 達成率	達成率	達成率	達成率

【事業の成果】

事務事業名	旧岸名家等管理運営事業			事業コード	10050800501
所管部署	文化課	電話	50-3164	記入者名	黒谷 好美
事業対象	市民				
総合計画	基本構想	生涯を通じて学び・育つまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	歴史・文化・芸術の伝承と振興		事業種別	指定管理者事業
実施主体	指定管理者	実施手段	業務の全部を委託	委託内容	管理運営事業
根拠法令	有	地方自治法第244の2第3項及び施設設置条例の規定			
根拠例規	有	旧岸名家条例・旧岸名家条例施行規則、三国湊町家館条例・三国湊町屋館条例施行規則			
関連計画	有	坂井市教育振興基本計画			
【事業の概要】	国の登録有形文化財である古民家の保存と公開のために適切な管理を行い、広く一般に公開することで、文化財への理解と愛着を深めながら、伝統の継承を図る。				
	国の登録有形文化財である旧岸名家及び三国湊町屋館を、指定管理者により適切な管理を行う。 指定管理者：ボランティアガイドきたまえ三国 平成20年度～平成24年度 ○役務費（火災保険料） 57千円 ○委託料（指定管理者委託料） 4,410千円				
【事業の目的・事業の概要等】					

すぐに行える改善提案	旧岸名家は、国の登録文化財で町家館と併設されており、指定管理で特定非営利活動法人ボランティアガイドきたまえに委託しています。この地区は古い町並みが残って観光客も誘致されているところから文化財保護と活用するためのPRを積極的に観光客に進めていきます。	
目標年度 未設定 年度		
取組状況	毎月の業務報告書により、適切な管理運営、安全で快適な環境づくりに努めているかを確認しました。	
中長期的に取り組むべき改善提案	三国湊町一帯の町並み景観や隣接する施設との連携を密にして、観光PR活動の強化や集客力となる新たな自主事業の取り組みを求めています。	
目標年度 未設定 年度		
取組状況	常に文化財の保護と活用を適正に行っていくことで、町並み保存と観光誘致の強化に繋げていきます。	

【前年度改善案に対する取組状況】

【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A	
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B	
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	B	
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B

【担当者評価】

予算	款	教育費	項	社会教育費	目	文化振興費					
【事業のコスト】	コスト	事業費	平成23年度		平成22年度		平成21年度		平成20年度		
			報酬	千円	千円	千円	千円				
			委託費	4,410	千円	千円	千円				
			需用費	千円	千円	千円	千円				
			役務費	57	千円	千円	千円				
			その他	千円	千円	千円	千円				
		事業費合計	4,467	千円	千円	千円					
		人件費	正職員	0.12	人	815	千円	人	千円	人	千円
			臨時職員	0.00	人	千円	人	千円	人	千円	
			人件費合計	0.12	人	815	千円	人	千円	人	千円
	総事業費	5,282	千円	千円	千円	千円					
	事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円				
			使用料・手数料	千円	千円	千円	千円				
			分担金・負担金	千円	千円	千円	千円				
			地方債	千円	千円	千円	千円				
その他			千円	千円	千円	千円					
一般財源		5,282	千円	千円	千円	千円					
財源合計	5,282	千円	千円	千円	千円						

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	平成24	年度を目安
判断事由	国の登録文化財である旧岸名家は町屋館と併設されており指定管理者による管理運営で公開され文化財保護と活用を図っています。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	平成24	年度を目安
判断事由	H25年3月31日まで指定管理者による管理運営を継続します。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成24	年度を目安
判断事由	H25年3月31日まで指定管理者による管理運営を継続します。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成24	年度を目安
判断事由	H25年3月31日まで指定管理者による管理運営を継続します。			
すぐに行える改善提案	指定管理者のモニタリングを通して適正な管理運営を図り、次期指定管理者を選定する段階で業務の見直しを行って一帯の町並み景観や隣接する施設との連携した観光PRの強化や集客を高める新たな自主事業の取り組みを求めています。			
目標年度 平成24 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	三国湊町の伝統的な建築物の保護と公開を図りながら文化財保護意識を高め観光振興の活性化に寄与していきます。			
目標年度 -- 年度				

【所属長評価】

	指標名	単位	年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度	平成20年度
成果	三国湊町家館利用者数	人	目標値	16000	17000	15000	9000
			実績値	13921	87.01	12178	15018
成果	旧岸名家入館者数	人	目標値	10500	11000	10000	10000
			実績値	9079	86.47	8994	10228
活動	三国湊町家館施設開館日数	日	目標値	312	310	310	307
			実績値	313	100.32	313	310
活動	三国湊町家館会議室利用料	円	目標値	40000	40000	50000	45000
			実績値	34260	85.65	20760	40960
活動	旧岸名家入館料	円	目標値	600000	650000	500000	100000
			実績値	636700	106.12	589800	647300
活動	旧岸名家施設開館日数	日	目標値	312	310	310	307
			実績値	313	100.32	313	310

【事業の概要】

【事業のコスト】

【事業の成果】

事務事業名	歴史民俗資料館管理運営事業			事業コード	10050800701
所管部署	文化課	電話	50-3164	記入者名	堤 徹也
事業対象	市民・市外からの観光客				
総合計画	基本構想	生涯を通じて学び・育つまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	歴史・文化・芸術の伝承と振興		事業種別	指定管理者事業
実施主体	指定管理者	実施手段	業務の一部を委託	委託内容	管理運営業務
根拠法令	無				
根拠例規	無				
関連計画	無				
事業の概要	丸岡城下をはじめとした郷土の有形文化財および民俗資料などを収集保存し、一般に公開することにより、市内外の人に、丸岡城と丸岡城下の歴史と文化的価値を広く周知する効果を持たせるとともに、その学術・文化の向上に資することを目的とする。地域住民が学びやすく親しみのある学習の場であり、なおかつ丸岡城と城下の歴史的価値の情報発信基地としての資料館造りを目指す。				
	<p>1. 所蔵・保管している資料の寄贈・寄託関係を引き続き明らかにしていく。</p> <p>2. 所蔵・保管している資料を保存管理するために、定期的に全館燻蒸を実施し、虫害・カビ等の発生を防ぐ。</p> <p>3. 施設の管理は指定管理者（主管課観光産業課）となっているので、協議が必要であるが、単なるモノの羅列ではなく、真に来館者に丸岡城や丸岡藩の歴史などを紹介する資料館にするため、展示構成を再考したり、展示資料に説明キャプションを加えたりする必要がある。</p> <p>○火災保険料(城、資料館) 52千円 ○損害保険料(寄託資料) 28千円</p>				

予算	款	教育費	項	社会教育費	目	文化振興費				
コスト	事業費	平成23年度		平成22年度		平成21年度		平成20年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		委託費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		需用費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		役務費	80千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		その他	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		事業費合計	80千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
	人件費	正職員	0.05人	340千円	人	千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00人	千円	人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.05人	340千円	人	千円	人	千円	人	千円
	総事業費		420千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
	事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
			使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
			分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
			地方債	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
その他			千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
一般財源			420千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
財源合計			420千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	

指標名	単位	年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度	平成20年度
成果	丸岡城関連資料の収蔵率	%	目標値 10 達成率 11	目標値 11 達成率 11	目標値 11 達成率 11	目標値 10 達成率 11
		%	実績値 0 0	実績値 12 0	実績値 11 0	実績値 11 0
活動	丸岡城関連資料の収蔵件数	件	目標値 25 達成率 25			
		件	実績値 27 108	実績値 27 108	実績値 25 108	実績値 25 108
活動	収蔵資料の件数	件	目標値 219 達成率 217	目標値 217 達成率 217	目標値 221 達成率 221	目標値 230 達成率 221
		件	実績値 219 100	実績値 219 100	実績値 217 100	実績値 221 100
			目標値 達成率	目標値 達成率	目標値 達成率	目標値 達成率
			実績値	実績値	実績値	実績値
			目標値 達成率	目標値 達成率	目標値 達成率	目標値 達成率
			実績値	実績値	実績値	実績値
			目標値 達成率	目標値 達成率	目標値 達成率	目標値 達成率
			実績値	実績値	実績値	実績値

すぐに行える改善提案	歴史民俗資料館は丸岡城付近に設置されており入館者数は丸岡城とセットになっている関係で多数の観光客が入館しています。しかしながら、丸岡城に関する展示物が少ないことや展示、保管する環境が悪いため展示内容の検討を進めていく必要があります。
目標年度 未設定 年度	
取組状況	今年度は丸岡城関連の新規資料の受け入れはありませんでした。
中長期的に取り組むべき改善提案	建設から30年以上経過し、老朽化が目立っています。また、施設規模としても保管環境の異なる資料を収集することに適した施設ではありません。今後も施設を運営していくのであれば、温湿度管理が必要な資料だけに絞り、丸岡城のガイドダンス施設として運営していくことが望ましいと考えます。
目標年度 未設定 年度	
取組状況	

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	B
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	B
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B

事業の方向性	改善して継続します。	目標年度	平成24	年度を目安
判断事由	丸岡城に隣接することから施設の管理運営は指定管理者が行い、収蔵資料の管理は文化課で行って一般公開しています。施設の老朽化が進行していることや展示、保管する環境も悪いため展示内容等の検討を進めていく必要があります。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	平成24	年度を目安
判断事由	H25年3月31日まで指定管理者による管理運営を継続します。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成24	年度を目安
判断事由	H25年3月31日まで指定管理者による管理運営を継続します。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成24	年度を目安
判断事由	H25年3月31日まで指定管理者による管理運営を継続します。			
すぐに行える改善提案	指定管理者のモニタリングを通して適正な管理運営を図っていきます。			
目標年度 平成24 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	収蔵資料の保存に必要な温湿度管理を徹底する機能が備わっておらず、材質によっては保管に適した環境ではないため展示内容及び保存場所を検討していきます。			
目標年度 -- 年度				

【事業の成果】

事務事業名	文化の森管理運営事業			事業コード	10050800801
所管部署	文化課	電話	50-3164	記入者名	黒谷 好美
事業対象	市民 施設利用者				
総合計画	基本構想	生涯を通じて学び・育つまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	歴史・文化・芸術の伝承と振興		事業種別	指定管理者事業
実施主体	指定管理者	実施手段	業務の全部を委託	委託内容	管理運営業務
根拠法令	有	地方自治法第244の2第3項及び各施設設置条例の規定			
根拠例規	有	坂井市文化の森・YURI文化情報交流館条例、坂井市文化の森・YURI文化情報交流館条例施行規則			
関連計画	有	坂井市教育振興基本計画			
事業の概要	文化施設の適切な維持管理を行うとともに、市民の文化振興を図る。				
	市の文化活動の拠点施設として、指定管理者により適切な管理を行うとともに、修繕及び改修については長期的な視野に立ち計画的に行う。 指定管理者：坂井市文化振興事業団 平成20年度～平成24年度				
事業の目的・事業の概要等	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆文化の森管理運営事業 76,822千円</li> <li>○需用費（施設等修繕料） 1,179千円</li> <li>○役務費（火災保険料） 140千円</li> <li>○委託料（指定管理者委託料） 71,200千円</li> <li>（屋外排水管点検調査委託料） 483千円</li> <li>○使用料及び賃借料（土地借上料） 3,820千円</li> </ul>				

すぐに行える改善提案	施設は図書館を併設した複合施設で、指定管理者の坂井市文化振興事業団に管理運営を委託していますが、施設及び設備が著しく老朽化しています。適切な施設の保守点検等を実施し、指定管理者と相互に連携を図りながら安全確保に努めます。毎月提出される業務報告書等の内容を確認し、適正な管理運営を求めていきます。文化施設の拠点として興行面での公演業務の充実を図るため、質の高い公演や市民参加型の自主事業を企画して、利用者層の拡大をし、集客増に繋げるよう指導、助言を行っていきます。	
目標年度 平成25 年度		
取組状況	施設整備については、老朽化が進んでいるものの、特に危険度の高いものから優先順に修繕等を施行していきました。小ホールグランドピアノ修繕、舞台機構設備大ホール吊物ワイヤーロープ取替工事、屋外配水間点検調査を実施しました。毎月の業務報告書を通じて、適切に運営管理がされているかを確認しました。	
中長期的に取り組むべき改善提案	文化ホールの拠点として本格的な音楽や演劇などの興行面での公演業務を充実するため、経年劣化している施設及び設備を計画的に整備していきます。	
目標年度 未設定 年度		
取組状況	24年度では電動式移動観覧席、噴水給配水管、噴水広場タイル、屋外外灯、非常電源用蓄電池、大ホールピアノの修繕を実施していきます。	

【前年度改善案に対する取組状況】

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B

【担当者評価】

予算	款	教育費	項	社会教育費	目	文化振興費				
コスト	事業費	報酬 委託費 需用費 役務費 その他 事業費合計	平成23年度		平成22年度		平成21年度		平成20年度	
			千円	千円	千円	千円	千円	千円		
			71,683	千円	千円	千円	千円	千円		
			1,179	千円	千円	千円	千円	千円		
			140	千円	千円	千円	千円	千円		
			3,820	千円	千円	千円	千円	千円		
			76,822	千円	千円	千円	千円	千円		
	人件費	正職員	0.54 人	3,669 千円	人	千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00 人	千円	人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.54 人	3,669 千円	人	千円	人	千円	人	千円
	総事業費		80,491 千円		千円		千円		千円	
	事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円			
			使用料・手数料	千円	千円	千円	千円			
			分担金・負担金	千円	千円	千円	千円			
			地方債	千円	千円	千円	千円			
その他			300 千円	千円	千円	千円				
一般財源		80,191 千円	千円	千円	千円					
財源合計		80,491 千円		千円		千円		千円		

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	平成24	年度を目安
判断事由	老朽化した施設及び設備の状況を的確に把握しながら計画的に適切な施設整備を行い、文化施設の拠点として指定管理者による管理運営を行っています。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	平成24	年度を目安
判断事由	H25年3月31日まで指定管理者による管理運営を継続します。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成24	年度を目安
判断事由	H25年3月31日まで指定管理者による管理運営を継続します。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成24	年度を目安
判断事由	H25年3月31日まで指定管理者による管理運営を継続します。			
すぐに行える改善提案	指定管理者のモニタリングを通して適正な管理運営を図り、次期指定管理者を選定する段階で業務の見直しを行って質の高い公演や市民参加型の自主事業の企画により集客増を求めていきます。			
目標年度 平成24 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	施設及び設備の老朽化に応じた施設整備を計画的に行い、「興行面での公演事業を行う文化施設の拠点」として指定管理者により適切な管理運営を図りながら質の高い公演内容や市民参加型の自主事業の充実を企画検討して集客増に繋がる指導助言を行っていきます。			
目標年度 -- 年度				

【所属長評価】

	指標名	単位	年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度	平成20年度
成果	利用料収入	千円	目標値	13670	達成率 12000	11277	達成率 11449
			実績値	12310	90.05	13231	達成率 12443
成果	利用者数	人	目標値	91900	達成率 90000	99600	達成率 98000
			実績値	148229	161.29	128877	91619
活動	小ホール稼働率	%	目標値	45	達成率 45	40	達成率 40
			実績値	26.8	59.56	44.9	43.9
活動	開館稼働率	%	目標値	99	達成率 97	90	達成率 90
			実績値	93	93.94	96.6	99.3
活動	大ホール稼働率	%	目標値	56	達成率 53	50	達成率 50
			実績値	41.7	74.46	49.8	55.7
			目標値		達成率		達成率
			実績値				

【事業の概要】

【事業のコスト】

【事業の成果】

事務事業名	文化財保護審議会運営事業			事業コード	10050900101
所管部署	文化課	電話	50-3164	記入者名	堤 徹也
事業対象	市民				
総合計画	基本構想	生涯を通じて学び・育つまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	歴史・文化・芸術の伝承と振興		事業種別	ソフト事業
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容	
根拠法令	有	文化財保護法			
根拠例規	有	坂井市文化財保護条例、坂井市文化財保護審議会規則			
関連計画	無				
事業の概要	新たな文化財の指定や解除に関する諮問や、市の文化財保護施策に関する討議などを通して、文化財の保護を図る。				
	文化財保護審議会の開催及び運営（委員数10人、任期2年） ○報酬（文化財保護審議会委員報酬）184千円 ○旅費（費用弁償）3千円 ○需用費（会議費）2千円				
事業の目的・事業の概要等					

すぐに行える改善提案	平成20年度より、合併により各旧町の文化財認定の基準が国の基準に適合していないので、全ての見直しを平成22年度までに実施しました。また、平成23年4月1日より坂井市登録文化財制度が実施され、新たな文化財の指定や、登録文化財の指定について審議していくことになります。	
目標年度 未設定 年度		
取組状況	平成23年7月に指定解除13件、新規指定1件、登録文化財8件の答申を行いました。	
中長期的に取り組むべき改善提案	文化財の種類は多岐にわたるため、全ての方針を網羅した委員構成にはなっていません。委員としてだけでなく、相談できる専門家を把握しておき、適宜指導を受けられる環境づくりが重要と考えます。	
目標年度 未設定 年度		
取組状況	協力してもらえる各分野の知識・経験者をもつ専門家の把握に努めます。	

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

予算	款	教育費	項	社会教育費	目	文化財保護費				
コスト	事業費	平成23年度		平成22年度		平成21年度		平成20年度		
		報酬	184千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		委託費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		需用費	2千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		その他	3千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
	事業費合計	189千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
	人件費	正職員	0.05人	340千円	人	千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00人	千円	人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.05人	340千円	人	千円	人	千円	人	千円
	総事業費	529千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
	事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
		使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
分担金・負担金		千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
地方債		千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
その他		千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
一般財源		529千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
財源合計	529千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	平成20年度から22年度までの3年間を費やした坂井市指定文化財見直しの結果として、指定解除13件、新規指定1件、登録文化財8件の諮問答申を行いました。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	引き続き市が実施していきます。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	引き続き文化財保護審議会委員10名で実施していきます。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	現在の人員で事業を実施します。			
すぐに行える改善提案	指定文化財に未指定となっている案件について早急に調査して審議会へ議案提出し審議します。			
目標年度 平成28 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	指定文化財に未指定となっている案件について早急に調査して審議会へ議案提出し審議します。			
目標年度 平成28 年度				

事業の成果	成果	会議1回あたりの議案処理件数	単位	年度	平成23年度		平成22年度		平成21年度		平成20年度	
					目標値	1	達成率	1	達成率	1	達成率	1
	実績値	1	100	3.3		1.8		1.5				
	活動	処理議案件数	単位	年度	平成23年度		平成22年度		平成21年度		平成20年度	
					目標値	1	達成率	6	達成率	6	達成率	6
	実績値	1	100	20		11		9				
	活動	会議開催回数	単位	年度	平成23年度		平成22年度		平成21年度		平成20年度	
					目標値	3	達成率	6	達成率	6	達成率	6
	実績値	2	66.67	6		9		5				
					目標値		達成率		達成率		達成率	
					実績値							
					目標値		達成率		達成率		達成率	
				実績値								
				目標値		達成率		達成率		達成率		
				実績値								

事務事業名	文化財保存管理事業			事業コード	10050900201
所管部署	文化課	電話	50-3164	記入者名	堤 徹也
事業対象	市内の文化財 市が所有する文化財 市民				
総合計画	基本構想	生涯を通じて学び・育つまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	歴史・文化・芸術の伝承と振興		事業種別	ソフト事業
実施主体	市	実施手段	業務の一部を委託	委託内容	保存管理事業
根拠法令	有	文化財保護法			
根拠例規	有	坂井市文化財保護条例 坂井市教育委員会文化課所管補助金交付要綱			
関連計画	無				

【事業の概要】

文化財の保存管理に必要な措置を講じ、貴重な文化財を後世に伝えるため、広く市民への公開や活用を通して、文化財保護意識の啓発を行う。

**【指定文化財等管理事業】**  
市が所有・管理する史跡等の維持管理を行う。  
○賞金(緊急雇用) 1,089千円  
○委託料 1,486千円

**【指定文化財補助事業】**  
指定文化財所有者に対し、管理奨励金を交付して適切な管理を支援する。  
○報償費 410千円  
無形文化財保持者・保持団体に補助金を交付して活動を支援する。  
○補助金 576千円  
指定文化財保存事業に対して、補助金を交付して事業を支援する。  
○補助金 375千円

**【丸岡城天守防災設備改修事業】**  
防火水槽と消火設備の老朽化により改修工事に先立ち、設計業務を行う。  
○委託料 4,568千円  
○調査官招聘等旅費 35千円  
○需用費(消耗品費、光熱水費、修繕料) 231千円  
○役務費(火災保険料) 16千円  
○委託料(旧森田銀行本店外壁劣化度調査) 1,092千円  
○使用料及び賃借料(土地借上料) 146千円  
○負担金(全史協北信越協議会参加負担金他) 75千円

【事業のコスト】

予算	款	教育費	項	社会教育費	目	文化財保護費				
コスト	事業費	平成23年度		平成22年度		平成21年度		平成20年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		委託費	7,146千円	千円	千円	千円	千円			
		需用費	231千円	千円	千円	千円				
		役務費	16千円	千円	千円	千円				
		その他	1,617千円	千円	千円	千円				
	事業費合計	9,010千円	千円	千円	千円					
	人件費	正職員	0.35人	2,378千円	人	千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00人	千円	人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.35人	2,378千円	人	千円	人	千円	人	千円
	総事業費		11,388千円	千円	千円	千円	千円			
	事業費	特定財源	国県支出金	1,206千円	千円	千円	千円			
			使用料・手数料	千円	千円	千円	千円			
分担金・負担金			千円	千円	千円	千円				
地方債			千円	千円	千円	千円				
その他			千円	千円	千円	千円				
一般財源		10,182千円	千円	千円	千円					
財源合計		11,388千円	千円	千円	千円	千円				

【事業の成果】

指標名	単位	年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度	平成20年度				
成果	指定文化財の補助実施率	目標値	13	達成率	53	達成率	53	達成率	53	達成率
		実績値	10	76.92	24	達成率	28	達成率	38	達成率
成果	指定文化財の毀損・滅失による解除件数	目標値	0	達成率	0	達成率	0	達成率	0	達成率
		実績値	0	---	0	達成率	0	達成率	0	達成率
活動	指定文化財の毀損等発生件数	目標値	0	達成率	0	達成率	0	達成率	0	達成率
		実績値	2	---	0	達成率	0	達成率	0	達成率
活動	文化財の新規指定件数	目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
		実績値	1	---	0	達成率	0	達成率	0	達成率
活動	市有文化財等維持管理実施件数	目標値	10	達成率	10	達成率	10	達成率	7	達成率
		実績値	10	100	10	達成率	9	達成率	10	達成率
活動	文化財補助金支出件数	目標値	13	達成率	53	達成率	53	達成率	53	達成率
		実績値	10	76.92	24	達成率	28	達成率	38	達成率

すぐにできる改善提案	現在、旧三国北幼稚園と旧山口ダム建設事務所で保存していますが、一箇所で管理するのが理想です。今後とも発掘調査で出土した遺品については、新しい保管場所が見つかるまで、このまま推移します。平成23年度では、文化財見直しの中で補助金についても見直しを行い、有形文化財と無形民俗文化財で区別をすることで事務の効率化を進めます。また、文化財の所有者に対して文化財保護に関する制度の周知を図っていきます。
目標年度 未設定 年度	
取組状況	有形文化財の管理補助制度は廃止して奨励金制度に移行し、手続きの簡素化と受益者の拡大を図りました。
中長期的に取り組むべき改善提案	発掘調査出土品の一括管理は引き続き市の空き施設の状況等を見ながら検討していきます。補助金は、無形文化財の活動補助については引き続き補助を実施し、継続的な保持者の育成と保持者・保持団体の自立支援に努めていきます。保存事業補助は、補助事業の計画的な実施に向け、所有者等との連絡相談体制の強化を図ります。
目標年度 未設定 年度	
取組状況	有形文化財の管理奨励金については、毎年管理状況報告書の提出を求め、毀損や劣化等の早期発見・把握に努めるようにしています。

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	B
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	B
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	B
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	有形文化財の管理補助金について見直しを行い管理奨励金とし手続きの簡素化と受益者の拡大を図りました。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	引き続き市が実施していきます。			
コスト投入の方向性	事業費の増加を検討します。	目標年度	平成25	年度を目安
判断事由	予算の範囲内で無形・有形文化財の補助金等を交付し文化財保護意識の啓発を行います。また、貴重な文化財を後世へ伝えるため防災設備改修を計画的に行います。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	現在の人員で事業を実施します。			
すぐにできる改善提案	発掘調査で出土した遺品について、一箇所で保存、公開ができる場所を空き施設の有効利用とともに検討していきます。			
目標年度 平成28 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	貴重な文化財を後世へ伝えるために防災設備の改修を計画的に行い公開や活用を通して文化財保護意識の啓発を行います。平成24・25年度には丸岡城の天守防災設備改修工事を予定しています。			
目標年度 平成28 年度				

【所属長評価】

事務事業名	六呂瀬山古墳群調査事業			事業コード	10050900301		
所管部署	文化課		電話	50-3164		記入者名	堤 徹也
事業対象							
総合計画	基本構想	生涯を通じて学び・育つまちづくり			事業区分	自治事務（任意的なもの）	
	基本計画	歴史・文化・芸術の伝承と振興			事業種別	ハード事業	
実施主体	市		実施手段	市が直接実施		委託内容	
根拠法令	無						
根拠例規	無						
関連計画	無						
事業の概要	北陸最大規模の前方後円墳を有する「国指定史跡 六呂瀬山古墳群」の調査を行い、保存活用を図る。						
	平成21年度から5ヶ年計画で行っている周辺調査を継続して行う。 ○賃金（発掘調査・遺物整理作業員賃金） 2,006千円 ○需用費（整理作業用具代他） 258千円 ○委託料（廃棄物処理委託料） 6千円 ○使用料及び賃借料（機材借上料） 233千円						
事業の目的・事業の概要等							

すぐに行える改善提案	平成21年度から六呂瀬山古墳群の周辺に遺構があるかどうかの確認調査を行っています。調査成果は展示や活用などに還元できるように進めていきます。また、地域住民等に調査現場を公開し、史跡保護の重要性や、地域学習の一環として、利活用をはかります。		
目標年度 平成25 年度			
取組状況	今年度は2ヶ所の調査を予定していましたが、遺構が発見されたため1ヶ所のための調査に留まりました。調査はあと2年で2ヶ所を調査する予定です。また、23年度には地元小学生の調査見学を行いました。		
中長期的に取り組むべき改善提案	周辺調査が完了すると、具体的な史跡整備に向けた検討に入ります。坂井市域全体を見渡せるという立地のよさを活かし、市民に親しまれる公園整備を目指します。		
目標年度 平成34 年度			
取組状況	16年度に丸岡町が策定した整備基本計画に基づいて事業を進めていきます。		

【前年度改善案に対する取組状況】

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B

【担当者評価】

予算	款	教育費	項	社会教育費	目	文化財保護費				
コスト	事業費	平成23年度		平成22年度		平成21年度		平成20年度		
		報酬	千円		千円		千円		千円	
		委託費	6千円		千円		千円		千円	
		需用費	258千円		千円		千円		千円	
		役務費	千円		千円		千円		千円	
		その他	233千円		千円		千円		千円	
		事業費合計	497千円		千円		千円		千円	
	人件費	正職員	0.20人	1,359千円	人	千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00人	千円	人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.20人	1,359千円	人	千円	人	千円	人	千円
	総事業費	1,856千円		千円		千円		千円		
	事業費	特定財源	1,485千円		千円		千円		千円	
		国県支出金	千円		千円		千円		千円	
		使用料・手数料	千円		千円		千円		千円	
分担金・負担金		千円		千円		千円		千円		
地方債		千円		千円		千円		千円		
その他		千円		千円		千円		千円		
一般財源		371千円		千円		千円		千円		
財源合計	1,856千円		千円		千円		千円			

【事業のコスト】

事業の方向性	このまま継続します。			目標年度	平成25	年度を目安
判断事由	平成21年度から5年計画で実施しており、3年目になります。					
実施主体の方向性	現状どおり実施します。			目標年度	平成25	年度を目安
判断事由	引き続き市が実施していきます。					
コスト投入の方向性	現状を維持します。			目標年度	平成25	年度を目安
判断事由	引き続き文化庁の補助を受けて実施します。					
人員投入の方向性	現状を維持します。			目標年度	平成25	年度を目安
判断事由	現在の人員で事業を実施します。					
すぐに行える改善提案	平成23年度は5年計画の3年目に当たり、これまでの調査成果の公開で市民への周知と啓発を図っていくことを検討します。					
目標年度 平成25 年度						
中長期的に取り組むべき改善提案	六呂瀬山古墳群の周辺に遺構があるかどうかの発掘調査を文化庁の補助金を受けて平成21年度から5年計画で史跡範囲の確定作業として実施し、この事前調査が終了すると本体整備や用地買収等が発生することになり、事業実施には人的体制の整備と文化庁以外の補助金を活用することを検討していきます。					
目標年度 -- 年度						

【所属長評価】

指標名	単位	年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度	平成20年度
成果	六呂瀬山古墳群周辺調査の進捗状況	%	目標値 80 達成率	40 達成率	20 達成率	0 達成率
		実績値 60 75	40	20	0	
活動	調査面積	m <sup>2</sup>	目標値 55 達成率	140 達成率	120 達成率	0 達成率
		実績値 55 100	120	127	0	
			目標値	達成率	達成率	達成率
			実績値			
			目標値	達成率	達成率	達成率
			実績値			
			目標値	達成率	達成率	達成率
			実績値			
			目標値	達成率	達成率	達成率
			実績値			

【事業の成果】

事務事業名	埋蔵文化財発掘調査事業			事業コード	10050900401
所管部署	文化課	電話	50-3164	記入者名	堤 徹也
事業対象					
総合計画	基本構想	生涯を通じて学び・育つまちづくり		事業区分	自治事務（義務的なもの）
	基本計画	歴史・文化・芸術の伝承と振興		事業種別	ソフト事業
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容	
根拠法令	有	文化財保護法			
根拠例規	無				
関連計画	無				
事業の概要	開発事業による埋蔵文化財の破壊や滅失を防ぎ、埋蔵文化財の保護と開発事業との円滑な調整を図るとともに、調査成果を広く公開し、文化財保護意識の向上と啓発を図る。				
	<p>周知の遺跡内で土木工事を行う場合に、試掘調査を実施し記録する。</p> <p>○需用費（整理作業用具代） 8千円          ○委託料（試掘調査掘削委託料） 472千円          （豊原寺跡測量委託料） 2,572千円</p>				

【事業の概要】

事業の目的・事業の概要等

すぐに行える改善提案	周知の埋蔵文化財包蔵地は坂井市全体の約60%以上の面積を含んでおり、家を建てる等の開発行為を実施する時には届出の義務があります。今後とも包蔵地内に存在する文化財が破壊されないよう、周知徹底を図り対応の迅速化に努めると共に専門の職員が調査・研究をおこなうことで、その資料の価値を明らかにして展示や活用などにより成果を還元していきます。
目標年度 未設定 年度	
取組状況	開発等に伴う試掘調査については、原則として市が負担して実施することとしました。
中長期的に取り組むべき改善提案	今後も市内遺跡の範囲確認は市の実施すべき業務として実施していきます。ただし、本発掘調査については、負担を求めることが適当ではないケースを除いて受益者負担で実施することを原則とします。また、出土遺物の整理や公開のための場所を確保し、成果を市民に還元できるよう努めます。
目標年度 未設定 年度	
取組状況	出土品の台帳整備が完了し、利活用のための基礎データが整いました。

【前年度改善案に対する取組状況】

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

【担当者評価】

【所属長評価】

予算	款	教育費	項	社会教育費	目	文化財保護費			
コスト	事業費	平成23年度		平成22年度		平成21年度		平成20年度	
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		委託費	3,044	千円	千円	千円	千円	千円	
		需用費	8	千円	千円	千円	千円	千円	
		役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		その他	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
	事業費合計	3,052	千円	千円	千円	千円	千円		
	人件費	正職員	0.35人	2,378	千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00人	千円	人	千円	人	千円	
		人件費合計	0.35人	2,378	千円	人	千円	人	千円
	総事業費	5,430	千円	千円	千円	千円	千円		
	事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円	
		使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円		
分担金・負担金		千円	千円	千円	千円	千円			
地方債		千円	千円	千円	千円	千円			
その他		千円	千円	千円	千円	千円			
一般財源		5,430	千円	千円	千円	千円			
財源合計	5,430	千円	千円	千円	千円				

【事業のコスト】

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	開発行為による埋蔵文化財の破壊や滅失を防ぎ、埋蔵文化財の保護と開発事業との円滑な調整を周知徹底により図っていきます。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	引き続き市が実施していきます。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	現在の予算を最大限に活用してPRIに努め実施します。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	現在の人員で事業を実施します。			
すぐに行える改善提案	周知の埋蔵文化財包蔵地内に存在する文化財が破壊されないよう開発行為時の届出を市のホームページ、広報等を活用して周知徹底していきます。			
目標年度	--	年度		
中長期的に取り組むべき改善提案	市内遺跡の範囲確認で出土した遺物の整理や公開のための場所を確保し、成果を市民に還元できるよう努めます。			
目標年度	--	年度		

成果	届出1件あたりの処理コスト	単位	年度	平成23年度		平成22年度		平成21年度		平成20年度	
				目標値	達成率	目標値	達成率	目標値	達成率	目標値	達成率
活動	調査面積	㎡	年度	6976	---	11775		2673		3000	
				実績値	達成率	実績値	達成率	実績値	達成率	実績値	達成率
活動	発掘届出件数	件	年度	200752	133834.7	244		86		303.25	
				目標値	達成率	目標値	達成率	目標値	達成率	目標値	達成率
活動	内容確認遺跡数	件	年度	30	143.33	40		46		37	
				目標値	達成率	目標値	達成率	目標値	達成率	目標値	達成率
活動	内容確認遺跡数	件	年度	25		25		25		25	
				目標値	達成率	目標値	達成率	目標値	達成率	目標値	達成率
活動	内容確認遺跡数	件	年度	32	128	29		31		32	
				目標値	達成率	目標値	達成率	目標値	達成率	目標値	達成率
活動	内容確認遺跡数	件	年度								
				目標値	達成率	目標値	達成率	目標値	達成率	目標値	達成率
活動	内容確認遺跡数	件	年度								
				目標値	達成率	目標値	達成率	目標値	達成率	目標値	達成率
活動	内容確認遺跡数	件	年度								
				目標値	達成率	目標値	達成率	目標値	達成率	目標値	達成率

【事業の成果】